

新型コロナウイルス感染症について

1 県内における感染者の状況について

去る 2 月 25 日、県内で初めて「新型コロナウイルス感染症」の無症状病原体保有者の発生が確認。

(1) 概要

- ・年代：60代
- ・性別：女性
- ・居住地：藍住町
- ・症状・経過
 - 2/20 クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」下船後、自宅に帰宅。発熱等の症状なし。
 - 2/23～本県における健康フォローアップ開始。
 - 2/25 発熱等の症状なし。帰国者・接触者外来を受診。保健製薬環境センターによる PCR 検査の結果、「陽性」を確認。
- ・行動歴
 - 下船後、厚生労働省の用意したシャトルバスで横浜駅まで移動、京浜急行電車にて羽田空港へ、JAL461 便にて阿波おどり空港到着後、自宅まで自家用車にて移動。
 - 移動中はマスクを着用していた。
 - 帰宅後は自宅から外出していない。
- ・なお、この女性の夫についても同様の検査をして「陰性」と確認。

(2) 対応状況

今後、積極的疫学調査を確実に実施。

2 クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」からのその他の下船者について

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」からウイルス検査が陰性の方の下船が去る 2 月 19 日から開始され、県内在住の 4 名の方が下船。

(1) 概要

- ・県内在住者の 4 名は、2 月 19 日に下船し、自宅に帰宅。
 - ・各保健所を通じ 4 名の方に連絡を取り、保健所を通じて、御本人と連絡をとり、自宅で待機していることを確認。
 - ・下船後 14 日間は毎日連絡をとり、健康観察を実施。
 - ・国の指針に基づき、
 - 2 週間は健康状態を毎日チェックし、不要不急の外出を控える、
 - 手洗い、咳エチケット等の徹底、
 - 咳や発熱などの症状が出た場合、速やかに「帰国者・接触者相談センター」に連絡すること、
- を伝達。

(2) 今後の対応

- ・引き続き、保健所による健康観察及びウイルス検査の受検勧奨を実施。

3 医療体制の整備（R2. 2. 27時点）

（１）「帰国者・接触者外来」の設置状況 8カ所

（２）感染症病床の状況（徳島大学病院、県立3病院）

・感染症病床 23床

〈参考〉 結核病床 17床（県立3病院）

4 検査体制の強化

予備費を活用し、検査体制を強化。

（１）感染症の有無を測定する「リアルタイムPCR」の増設

徳島県保健製薬環境センターにおける「リアルタイムPCR装置」を

現在の3台から4台へ増設し、1日あたりの検査件数の増加を図り、

検査体制を強化。

1日48件 → 1日最大96件

（２）「帰国者・接触者外来」設置協力医療機関に対する資機材の購入費用助成

「帰国者・接触者外来」の役割を新たに担って頂く「協力医療機関」に

対し、必要となる資機材（フィルター付き空気清浄機、個人防護具等）の

購入費用を助成し、感染拡大に備え、医療機関の体制強化を図る。